

令和元年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診が多く立地している中山間地域・へき地・離島における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

国においては、世界一の超高齢社会を背景に持続可能な社会保障制度の確立を図ることを目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成 24 年 8 月に社会保障制度改革推進法を成立させ、それに基づいて、平成 25 年 8 月に社会保障制度改革国民会議より最終報告書が提出された。そして同年 12 月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させた。

この法律に基づく措置として、平成 26 年 6 月 25 日に 19 本の個別法からなる一括法として「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が公布された。その概要は 1.新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、2.地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、3.地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などである。今回の法律改正で地域包括ケアシステムが規定されたことは、世界一の超高齢社会の日本ではこのシステムが必要不可欠であるということを示している。

国保直診では昭和 40 年代後半から先進的に地域包括医療・ケアの推進に取り組み、在宅医療を含む地域医療を支えてきた。国診協が昭和 59 年に「地域包括医療・ケア」の理念を明文化し、全国的に展開してきたことが最も先進的であることの証である。このことは国保直診の誇りであると共に、フロントランナーとしてさらに質の高い地域包括医療・ケアの推進を率先垂範していく使命があるといえる。

第 6 次医療法改正（平成 26 年 10 月施行）では、病床機能報告制度と地域医療構想の策定が柱となっていたが、第 7 次医療法改正（平成 27 年 9 月公布）では「医療法人制度の見直し」（平成 28 年 9 月施行）と「地域医療連携推進法人制度の創設等」（平成 29 年 4 月施行）の 2 つが大きな柱となっている。国保直診の立場から地域の医療ニーズを踏まえた地域医療構想等の実現に向けた取り組みを進めていく。

「医療法及び医師法の一部を改正する法律」（平成 30 年 7 月 25 日公布、平成 31 年 4 月から順次施行）では、地域間の医師偏在の解消等を通じ、地域における医療提供体制を確保するため、都道府県の医療計画における医師の確保に関する事項の策定、臨床研修病院の指定権限及び研修医定員の決定権限の都道府県への移譲等の措置が講じられることとなっている。その具体的進捗状況を注視していく必要がある。

医療保険制度改革については、必要な法律（持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律）が平成 27 年 5 月 27 日に成立し、順次公布されており、国保に対する公費による財政支援の拡充（平成 27 年度から）、平成 30 年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るなどの措置が講じられ、これまで国保直診が自治体の長とともに地域住民の予防保健・健康づくり事業を展開してきたが、それらの事業は新たに創設された保険者支援事業として新しい国保制度に受け継がれ、国保直診の益々の活躍が期待されている。

診療報酬改定については、令和 2 年 4 月の診療報酬改定に向けて、会員施設の経営状況等影響調査を踏まえ、国に対して要望を行った。

また、国により示された新たな公立病院改革ガイドライン、医師確保対策、総合診療専門医の詳細な制度設計及び働き方改革実行計画（平成 29 年 3 月 28 日働き方改革実現会議決定）に基づき設置

された「医師の働き方改革に関する検討会」の検討に関する具体的提言等の実施、会員拡大等、さまざまな課題に対応した。

更に、医療資源が限られた地域（医療従事者の確保等が困難で医療機関が少なく自己完結型の医療を提供している地域）への対応については、地域包括医療・ケアの充実への要望とともに中山間地域等医療資源不足に悩む我々国保直診に対する支援を強く要望した。

特に、令和元年9月26日に厚生労働省が地域医療構想の実現に向け、公立・公的医療機関等の具体的対応方針の「再検証」を要請する病院名を公表(本会会員施設の半数が対象とされた)するなどの進め方に対して直ちに意見を提出したが、引き続き、国の対応について注視していくとともに必要な対応をしていくこととしている。

このような情勢を踏まえ、国診協においては国保直診ヒューマンプランの基本理念のもと、急速な高齢化の進行も視野に入れた新しい時代における国保直診の役割、機能を確立し、医師・メディカルスタッフの確保等その基盤強化を図るための事業を実施することが最大の課題である。あわせて、国診協として、既存の医師派遣システム支援の補完を目的とした医師の短期派遣支援の取組み及び消費税増税等による国診協の財政基盤への影響等に留意した一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等についても、引き続き取り組んでいくこととする。このため、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会、平成29年9月に設立した地域医療を守る病院協議会構成団体、その他関係団体と緊密な連携を図りながら事業を実施していくこととしている。

なお、令和元年度の事業実施状況は以下のとおりである。

1 組織（令和2年3月31日現在）

- (1) 会 員 780名
- (2) 役 員
 - 会 長 1名（定員 1名）
 - 副 会 長 3名（定員 3名以内）
 - 常務理事 8名（定員 8名以内）
 - 理 事 34名（定員 20名以上 40名以内 会長、副会長、常務理事を含む）
 - 監 事 2名（定員 2名以内）

2 総会等の開催状況

(1) 社員総会

- ① 期 日 令和元年6月21日(金)
- ② 会 場 東京都 メルパルク東京
- ③ 主要議題（報告事項）
 - 理事の任期途中での辞任等の報告について
 - 副会長及び常務理事の選定について
 - 平成30年度事業報告について
 - 全国国保地域医療学会開催年度の変更について（決議事項）
 - 平成30年度収支決算について
 - 理事の選任について

(2) 理事会 開催回数2回

- ① 理事会(事業報告・決算等)
 - 1) 期 日 令和元年5月24日(金)
 - 2) 会 場 東京都 芝パークホテル

3) 主要議題（報告事項）

役員の職務執行状況について
平成30年度収支予算補正について
全国国保地域医療学会開催年度の変更について

（決議事項）

平成30年度事業報告について
平成30年度収支決算について
副会長及び常務理事の選定について
理事の選任（定時総会への推薦）について
規程の一部変更について
定時社員総会の招集について

② 理事会

1) 期 日 令和2年2月21日（金）

2) 会 場 メルパルク東京

3) 主要議題（報告事項）

理事の任期途中での辞任について
役員の職務執行状況報告について
第59回全国国保地域医療学会〔長崎・佐賀共同開催〕開催報告について
第35回現地研究会開催地の決定について

（協議事項）

第60回全国国保地域医療学会〔北海道開催〕について
第34回地域医療現地研究会〔福島県開催〕について

（決議事項）

令和2年度事業計画について
令和2年度収支予算について
会長専決事項委任及び一時借入金について
会費の見直しについて
参与の委嘱について
規程の一部変更について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国保直診開設者協議会会長合同会議

① 期 日 令和元年10月4日（金）

② 会 場 長崎ブリックホール

③ 主要議題 第59回全国地域医療学会国保直診開設者サミット事前打合せ会
『地域づくりと地域包括医療ケア～高齢化・人口減少時代の自治体と国保直診の役割～』

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

① 期 日 令和2年2月21日（金）

② 会 場 メルパルク東京

③-1 国診協情勢報告

③-2 講 演 「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」
厚生労働省保険局国民健康保険課長 熊木正人氏

(5) 正副会長打合せ会

① 開催回数 8回

(平成31年4/12、令和元年5/10、5/24、6/21、9/11、10/3、令和2年1/17、2/21)

② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業に関する重要事項について

(6) 執行役員会

① 開催回数 6回 [テレビ会議2回]

(令和元年5/8 [テレビ会議]、5/24、6/21、10/3、令和2年2/5 [テレビ会議]、2/21)

② 主要議事 国の動向等への対応及び事業運営について

(7) 監事会

① 期 日 令和元年5月10日(金)

② 主要議事 平成30年度事業報告及び決算

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

開設者委員会 3回(令和元年6/21、10/4、令和2年2/21)

総務企画委員会 (-)

調査研究委員会 3回(令和元年10/8、令和2年1/18 正副委員長、令和2年3/10)
(ほか緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

広報情報委員会 4回 [4回ともテレビ会議]
(令和元年5/15、8/19、10/31、令和2年2/7)

地域医療・学術委員会 2回 (令和元年6/13 [テレビ会議]、令和2年1/17)
(緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

歯科保健委員会 1回(令和2年3/4 [テレビ会議])

診療所委員会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

施設経営委員会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

地域ケア委員会・各部会合同会議 1回(令和元年10/4)

摂食嚥下・NST 部会、在宅医療推進部会、看護・介護部会、リハビリテーション部会

資金運営委員会 (緊急案件についてメールでの決済を実施)

調査研究事業倫理委員会 (倫理審査の対象事業なし)

老人保健福祉調査研究会 (受託事業親委員会・・当年度は特に諮る案件なし)

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2回(第1回、第2回とも書面審査)

*第2回は令和2年3/4開催を予定していたが、中止とし、書面審査とした。

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2回 (令和元年9/11、令和2年3/13)

国診協・全自病協との打合せ会(定例) 2回 (令和元年9/11 令和2年3/13・中止)

国診協・自治医科大学との懇談会(定例) 1回 (令和2年3/13 中止)

国診協・全自病協 総合診療専門医合同検討委員会

委員会：第1回令和元年8/3

コアメンバー会議：第1回令和元年12/12、第2回令和2年1/18

医師臨床研修指導医講習会ディレクター会議 1回 (令和2年2/14)

地域医療を守る病院協議会

⇒地方に多くの病院を有する5団体により平成29年9月28日に設立。その後6団体に。

[令和元年度は、押淵会長が議長を、国診協事務局が当協議会事務局を務める。]

4回開催(令和元年6/5、令和元年9/19、12/19、令和2年3/26)

4 学会・研修会等の開催結果

(1) 第59回国保地域医療学会開催報告

①会期

令和元年10月4日（金）、5日（土）

②会場

学会：長崎ブリックホール

地域医療交流会：ホテルニュー長崎

③参加者

[学会]

1,346人（一般参加者1,222人（学生61人、スタッフ88人含む）、来賓及び出演者108人、主催者16人）

[地域医療交流会]

543人（一般参加者484人、来賓48人、主催者11人）

④メインテーマ

地域包括ケアシステムの更なる深化を目指して
～ 近代医学・西洋文化伝来の地からの発信 ～

⑤学会内容

1) 特別講演Ⅰ 10月4日（金）11:00～11:50（50分）

演 題	核兵器なき世界の実現と医師の役割	
講 師	朝長 万佐夫	日赤長崎原爆病院名誉院長 / 長崎大学名誉教授
司会者	押淵 徹	第59回国保地域医療学会会長 長崎県：国保平戸市民病院院長 / 国診協会会長

2) 会員宿題報告 10月4日（金）12:00～12:30（30分）

演 題	北海道における地域医療の現状と地域包括ケア実践の課題	
講 師	村上 英之	北海道：足寄町国民健康保険病院院長
司会者	小野 剛	秋田県：市立大森病院院長 / 国診協副会長

3) 特別講演Ⅱ 10月4日（金）13:00～13:50（50分）

演 題	医師の需給と偏在対策	
講 師	片峰 茂	長崎大学名誉教授 / 厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会座長
司会者	調 漸	長崎大学学長特別補佐 / へき地病院再生支援・教育機構教授（機構長）

4) 国保直診開設者サミット 10月4日（金）14:50～16:30（100分）

演 題	地域づくりと地域包括医療ケア ～ 高齢化・人口減少時代の自治体と国保直診の役割 ～	
-----	--	--

司会者	藤本 昭夫	国診協開設者委員会委員長 大分県：姫島村長
	金丸 吉昌	国診協副会長 宮崎県：美郷町地域包括医療局総院長
助言者	熊木 正人	厚生労働省保険局国民健康保険課長
発言者	黒田 成彦	長崎県：平戸市長
	横尾 俊彦	国診協開設者委員会委員 佐賀県：多久市長
	都竹 淳也	岐阜県：飛騨市長
	福田 政憲	宮崎県：宮崎県北の地域医療を守る会 事務局長
特別 発言者	原 勝則	国民健康保険中央会理事長

5) 参加型ワークショップ 10月4日(金) 11:50~13:50 (120分)

テーマ	中小病院、診療所で地域包括医療ケアを担って頑張っている医療人たちの取り組み！～ 地域包括ケア実践にあたっての問題点・解決策を考える ～	
ディレクター	岩崎 榮	国診協参与 NPO法人卒後臨床研修評価機構専務理事
特別講師	松島 加代子	長崎大学病院医療教育開発センター講師 ／ 医師育成キャリア支援室長
タスク フォース	林 拓男	広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長・顧問
	佐々木 学	長野県：国民健康保険北山診療所長
	中村 伸一	福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長
	小林 勇文	佐賀県：唐津市民病院きたはた 理学療法士
	中桶 了太	長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構 准教授

6) シンポジウム 10月5日(土) 9:00~11:00 (120分)

演 題	健康寿命の延伸 人生100年時代に向けて	
司会者	小野 剛	国診協副会長 秋田県：市立大森病院長
	山下 雅巳	第59回全国国保地域医療学会副学会長 長崎県：平戸市立生月病院長
助言者	眞鍋 馨	厚生労働省老健局老人保健課長

発言者	上通 一泰	佐賀県:町立太良病院長
	草野 洋介	西九州大学健康栄養学部 教授
	矢島 鉄也	千葉県病院事業管理者(病院局長)
	平野 浩彦	東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長
特別 発言者	渡辺 俊介	国際医療福祉大学大学院 教授
	邊見 公雄	公益社団法人全国自治体病院協議会 名誉会長

7) 市民公開講座 10月5日(土) 13:00~14:30(90分)

演題	「夢持ち続け日々精進」	
講師	高田 明	株式会社A and Live 代表取締役 (ジャパネットたかた 創業者)
司会者	押淵 徹	第59回全国国保地域医療学会学会長 長崎県:国保平戸市民病院院長 / 国診協会会長

8) 研究発表 演題数 272題(口演発表174題、ポスター発表98題)

演題分類		演題数
1	主として地域包括医療・ケア(システム)の推進に関するもの	
1	連携に関するもの(住民・行政・施設間)	31
2	住民団体(患者側)・ボランティアに関するもの	3
3	行政に関するもの	7
4	保健事業・保健師に関するもの	11
5	在宅医療・ケアに関するもの	7
7	教育・人材育成に関するもの (医師、歯科医師、薬剤師、看護師、コメディカル、学生)	10
8	医療経済・受療行動等に関するもの(国保連合会等)	12
9	在宅看取りに関するもの	3
2	主として施設内の活動に関するもの	
1	医師に関するもの	25
2	看護に関するもの	37
3	薬剤に関するもの	5
4	臨床検査に関するもの	5
5	放射線医学に関するもの	7
6	栄養管理に関するもの	3
7	リハビリテーションに関するもの	22
8	歯科・口腔に関するもの	8
9	チーム医療に関するもの	3
10	介護に関するもの	11

11 施設の運営・管理に関するもの	17
12 感染管理に関するもの	0
13 安全管理に関するもの	20
14 終末医療・ケアに関するもの	15
3 その他、地域包括医療・ケアに関するもの	10

9) 教育セミナー

教育セミナー① 10月4日(金) 12:00~12:50 (50分)

演題	地域から発信する未来の医療・介護の形	
講師	織田 良正	佐賀県:社会医療法人祐愛会織田病院 医師
司会者	尾形 徹	第59回全国国保地域医療学会副学会長 佐賀県:小城市民病院長

教育セミナー② 10月4日(金) 12:00~12:50 (50分)

演題	医科歯科連携最前線 ~楽しく喜ばしき臨床の知恵~	
講師	梅田 正博	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔腫瘍治療学分野教授
司会者	奥山 秀樹	国診協歯科保健委員長 長野県:佐久市立国保浅間総合病院 医療技術部長兼 歯科口腔外科部長

教育セミナー③ 10月4日(金) 13:00~13:50 (50分)

演題	我が国近代医学の形成と長崎・佐賀	
講師	青木 歳幸	佐賀大学地域学歴史文化研究センター客員研究員 (元センター長)
司会者	後藤 祐大	佐賀県:多久市立病院長

教育セミナー④ 10月4日(金) 13:00~13:50 (50分)

演題	地域包括ケアの実施に向けたデータヘルスのさらなる推進 ~在宅医療・訪問看護等のデータをKDB データから見る~	
講師	松岡 正樹	国民健康保険中央会審議役
司会者	中野 透	国民健康保険中央会常務理事

教育セミナー⑤ 10月5日(金) 14:00~14:50 (50分)

演題	健康に老いるための地域づくり ~フレイル、サルコペニア予防事業~	
講師	才津 旭弘	熊本県:八代市立椎原診療所長
司会者	廣瀬 英生	岐阜県:県北西部地域医療センター国保和良診療所長

教育セミナー⑥ 10月5日(金) 14:00~14:50 (50分)

演題	自然災害時の感染症と対策	
講師	泉川 公一	長崎大学病院 感染制御教育センター長
司会者	山下 雅巳	第59回全国国保地域医療学会副学会長 長崎県:平戸市立生月病院長

教育セミナー⑦ 10月5日(土) 11:10~12:00 (50分)

演題	地域協働と大学の役割	
講師	前田 隆浩	長崎大学病院総合診療科 教授
司会者	池田 柊一	長崎県:国保平戸市民病院 事業管理者

10) 専門分科会

看護・介護部会 10月5日(土) 9:00~10:30 (90分)

演題	どんなふうに旅立ちたい? あなたの理想の逝き方とは	
司会者	内田 望	国診協看護・介護部会長 埼玉県:国保町立小鹿野中央病院長
発表者	清水 幸裕	富山県:南砺市民病院長
	岡江 晃児	大分県:杵築市医療介護連携課
	海保 隆	千葉県:国保直営総合病院君津中央病院長
	安室 千鶴	千葉県:国保直営総合病院君津中央病院 緩和ケア認定看護師

在宅医療推進部会 10月5日(土) 9:00~10:30 (90分)

演題	在宅医療推進のためのチームビルディング	
司会者	東條 環樹	国診協在宅医療推進部会長 広島県:北広島町雄鹿原診療所長
発表者	齋藤 稔哲	宮城県:気仙沼市立本吉病院長
	清原 小百合	大分県:国東市民病院 訪問看護師
	磯江 祐治	鳥取県:日南町国保日南病院 管理栄養士

摂食嚥下・NST 研究部会 10月5日(土) 9:00~10:30 (90分)

演題	食支援を地域に展開する!	
司会者	木村 年秀	国診協摂食嚥下・NST 部会長 香川県:まんのう町国民健康保険造田歯科診療所長
発表者	古川 美和	長崎市医師会医療センター診療所 管理栄養士
	小山 善仁	広島県:公立みつぎ総合病院リハビリ部 言語聴覚士

	角町 正勝	長崎県:角町歯科医院院長
	丸岡 三紗	香川県:まんのう町国民健康保険造田歯科診療所 歯科衛生士

リハビリテーション 10月5日(土) 9:00~10:30(90分)

演題	地域のための「地域包括ケア病棟(床)」になるために ～ リハビリからの発信 ～	
司会者	北谷 正浩	国診協リハビリテーション部会副部長 石川県:公立羽咋病院 リハビリテーション科士長
発表者	矢内 真実	石川県:珠洲市総合病院 リハビリテーション科・言語聴覚士
	北垣 祐輔	鳥取県:日南町国民健康保険日南病院 リハビリテーション科長・理学療法士
	木村 啓介	香川県:三豊総合病院 リハビリテーション科技師長・理学療法士

(2) 第34回地域医療現地研究会

- ① 開催期日 令和元年5月17日(金)・18日(土)
- ② 開催地 大分県国東市、姫島村
[会場] ホテルベイグランド国東 アトレホール
- ③ メインテーマ「豊の国おおいたで人口減少社会に立ち向かう地域づくりを考える」
～ 仏の里とジオパークの島からオンリーワンの地域包括ケアを発信! ～
- ④ 参加人員 219名
- ⑤ 内容 先進的国保直診活動状況の視察研究
研修施設 国東市民病院
姫島村国民健康保険診療所
六郷満山総持院両子寺

第1日目 5月17日(金)

時間	内容
9:00	受付 ホテルベイグランド国東
9:30	開講式 ホテルベイグランド国東「アトレホール」
10:30	視察先出発 ※3班に分かれてバス移動
10:45頃 ※各班で異なる	施設視察研修 国東 国東市民病院 姫島村国民健康保険診療所六郷満 山総持院両子寺
11:50頃 ※各班で異なる	昼食 第1班: 姫島村離島センター「やはず」 第2班: 国東市民病院「地域ふれあいホール」 第3班: 国見生涯学習センター「みんなかん」

12:45頃 ※各班で異なる	施設視察研修
18:30	地域医療交流会 ホテルベイグランド国東「アトレホール」

第2日目 5月18日(土)

時 間	内 容
9:30	<p>全体討議 (ホテルベイグランド国東「アトレホール」)</p> <p>テーマ 「豊の国おおいたで人口減少社会に立ち向かう地域づくりを考える」</p> <p>座 長 全国国民健康保険診療施設協議会大分県支部 支部長代行 木下 忠彦</p> <p>助言者 厚生労働省保険局国民健康保険課長 野村 知司 全国国民健康保険診療施設協議会 副会長 小野 剛</p> <p>発表者 佐伯市国保丹賀・大島診療所 所長 佐藤 裕隆 国東市高齢者支援課長兼国東市地域包括支援センター所長 小川 浩美 新共栄鉱業株式会社 代表取締役常務 河野 高洋</p>
11:00	閉講式 ホテルベイグランド国東「アトレホール」
11:15	解散

(3) 地域包括医療・ケア研修会

- ① 期 日 令和2年1月17日(金)・18日(土)
- ② 研修会会場 富士ソフト アキバプラザ「アキバホール」(東京秋葉原)
- ③ 参加人員 121名
- ④ メインテーマ 「令和を迎えての地域包括医療・ケアを語り合う」
～地域包括ケアのこれまでとこれから～

時 間	【第1日】 ー 1月17日(金) ー
13:00～13:10 (10min)	<p>○開講式</p> <p>主催者挨拶 押淵 徹 (公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) 中野 透 (公益社団法人国民健康保険中央会常務理事)</p>
13:10～14:10 (60min)	<p>○講演〔I〕</p> <p>演題：「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム (仮)」 講師：熊木正人 (厚生労働省保険局国民健康保険課長) 司会：安東正晴 (国診協副会長／香川県・三豊総合病院企業団企業長兼院長)</p>
14:10～14:15	*休憩 (5min)

14:15～14:45 (30min)	○ <u>講演〔Ⅱ〕</u> 国診協・会長講演 演題：「国保直診における地域包括医療・ケア（仮）」 講師：押淵 徹（国診協会会長／長崎県・国民健康保険平戸市民病院長）
14:45～14:55	*休憩（10min）
14:55～16:55 (120min)	○ <u>シンポジウム〔Ⅰ〕</u> 演題：「令和を迎えての保健・医療・介護・福祉の連携を語ろう」 基調講演：山下 護（厚生労働省保険局医療介護連携政策課長）（40min） 報告者①：「医療介護連携と人材育成及び健康づくり・予防活動の取組みから」（15min） 阿部顕治（島根県・浜田市国民健康保険弥栄診療所長） 報告者②：「訪問看護の取組みから」（15min） 清野真弓（新潟県・あがの市民病院地域連携支援部マネージャー） 報告者③：「行政・地域包括支援センターの取組みから」（15min） 湯浅雅志（徳島県：那賀町地域包括支援センター主任介護支援専門員） 助言：（10min）山下 護（厚生労働省保険局医療介護連携政策課長） 協議：（25min） コーディネーター：小野 剛（国診協副会長／秋田県・市立大森病院長）
16:55～17:05	*休憩（10min）
17:05～18:05 (60min)	○ <u>講演〔Ⅲ〕</u> 演題：「地域包括ケアのしくみを活かせるアドバンスケアプランニング（ACP）人材の育成～あいち ACP プロジェクト～（仮）」 講師：後藤友子（国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部研究員） 司会：海保 隆（国診協常務理事・地域医療・学術委員会委員長／千葉県・国保直営総合病院君津中央病院長）
18:05～18:15	*休憩・会場移動（10min）
18:15～20:00 (105min)	○ <u>地域医療交流会</u> テーマ：「本音で語ろう！私が考える地域包括ケアのカタチ」 コーディネーター： 村上英之（国診協地域医療・学術委員会委員／北海道：足寄町国保病院長） 萩野正樹（国診協地域医療・学術委員会委員／福井県：南越前町今庄診療所長） 沖津 修（国診協地域医療・学術委員会委員／徳島県：つるぎ町病院事業管理者）

時 間	【第2日】 — 1月18日(土) —
8:30~8:50 (20min)	○ <u>モーニングセミナー</u> 第58回全国国保地域医療学会優秀研究から学ぶ～最優秀研究～ 演題：「重度嚥下機能障害を有する高齢者診療における完全側臥位法の有用性」 工藤 浩（岐阜県：国民健康保険飛騨市民病院 医師）※共同研究者
8:50~9:00	*休憩（10分）
9:00~11:00 (120min)	○ <u>シンポジウム〔Ⅱ〕</u> 演題：「総合診療専門医の活躍と期待」 基調講演：野村英樹（金沢大学特任教授・金沢大学附属病院総合診療科長）（40min） 報告者①：「国診協・国保直診と総合診療専門医制度」（15min） 中村伸一（福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長） 報告者②「総合診療専門医：プログラム責任者・指導者」（15min） 大原昌樹（香川県：綾川町国民健康保険陶病院長） 報告者③「総合診療専門医：専攻医」（各15min） 梶田一旭（宮崎県・串間市民病院／宮崎大学地域医療・総合診療医学講座総合診療専門医後期研修プログラム） 助言：（10min） 押淵 徹（公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長） 協議：（25min） コーディネーター：金丸吉昌（国診協副会長／宮崎県：美郷町地域包括ケア局総院長）
11:00~ 11:10	*休憩（10min）
11:10~ 12:10 (60min)	○ <u>講演〔Ⅳ〕</u> 演題：「歯科衛生士から見た地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の現状と役割」 講師：文字山穂瑞（東京西の森歯科衛生士専門学校/西東京口腔ケアステーション） 司会：奥山秀樹（国診協歯科保健委員会委員長／長野県：佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長兼歯科口腔外科部長）
12:10~ 13:00	*休憩／昼食(50min) ○ <u>ランチョンセミナー</u> （12：30～12：50）（20min） 演題：「介護離職防止と遠距離介護を支える仕組みを考える」 ～「介護離職防止のため遠距離介護を支える事業」結果報告～ 講師：後藤忠雄（国診協調査研究委員会委員長／岐阜県：県北西部地域医療センター長兼国保白鳥病院長）
13:00~ 14:00 (60min)	○ <u>パネルディスカッション〔Ⅰ〕</u> 演題：「国民健康保険の保健事業推進に向けて」 発表者①：市町村国保予防・健康づくり保健事業の取組み～国保直診との連携（15min） 和田美江子（岐阜県：郡上市健康福祉部長） 発表者②：国保保健事業と介護予防等の一体的実施の取組み（15min） 有年貴子（三重県・名張市福祉子ども部地域包括支援センター保健師） 発表者③：国保直診における国保助成（健康管理事業等）を活用した活動例（15min） 高岡未来子（広島県：公立みつぎ総合病院保健師長） 質疑：（15min） コーディネーター：沖田光昭（国診協地域医療・学術委員会副委員長／広島県・公立みつぎ総合病院長）
14:00~ 14:10	*休憩（10min）

0～15:30 (80min)	<p>○パネルディスカッション〔Ⅱ〕</p> <p>演題：「診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇」</p> <p>発表者①：市川万邦（山梨県：南部町国保診療所長）（20min）</p> <p>発表者②：土肥直樹（神奈川県：相模原市国保内郷診療所長）（20min）</p> <p>発表者③：藤井崇史（岡山県：高梁市川上診療所歯科医長）（20min）</p> <p>ディスカッション（10min）</p> <p>コーディネーター講評（10min）</p> <p>コーディネーター：中村伸一（国診協診療所委員会委員長／福井県・おおい町国民健康保険名田庄診療所長）</p>
15:30	<p>○閉講式</p> <p>閉会挨拶 金丸吉昌（国診協副会長／宮崎県：美郷町地域包括ケア局総院長）</p>

(4) 国保直診口腔保健研修会

◎期 日 令和元年10月3日（木） 17：30～

◎会 場 ホテルニュー長崎

○ 参加人数：51名

○ 研修会会場 3階「鳳凰閣東の間」 17：30～19：40

○ 情報交換会会場 3階「丹頂の間」 19：50～21：30

◎メインテーマ 『離島僻地歯科診療の現状と国保直診歯科の展望』

17：00～	○受付 ※17：00 開場
17：30 ～ 17：35	○開会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会 会長 押淵 徹
17：35 ～ 19：35	<p>○講演（60分：17：35～18：35）</p> <p>「離島歯科診療と食支援活動の現状」</p> <p>講師 松尾繁樹 氏</p> <p>（一般社団法人佐賀県歯科医師会副会長／松尾しげき歯科医院理事長）</p> <p>○取組み発表・ディスカッション（60分：18：35～19：35）</p> <p>「各地域における歯科保健活動・国保直診歯科の過去・現在・未来！」</p> <p>レクチャー：奥山秀樹（長野県・佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長兼歯科口腔外科部長）</p> <p>発表①：澤田弘一（岡山県・鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所長）</p> <p>発表②：小島宏司（滋賀県・竜王町国保歯科診療所長）</p> <p>発表③：後藤拓朗（香川県・三豊総合病院歯科保健センター医長）</p> <p>司会・コーディネーター</p> <p>全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員 長谷剛志</p> <p>（石川県・公立能登総合病院 歯科口腔外科部長）</p>
19：35 ～ 19：40	○閉会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会副委員長 占部秀徳

19:50 ～ 21:30	○情報交換会 開会挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員長 奥山秀樹 乾杯（挨拶） 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員（企画担当） 長谷剛志 閉会挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会副委員長 澤田弘一
---------------------	--

(5) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修（隔年実施のため令和元年度の実施はなし）

(6) リハビリ専門職の人材育成に係る研修会（国診協 地域ケア委員会リハビリテーション部会主催）

本研修会は、国保直診のリハビリ専門職を対象に、国診協の理念である地域包括医療・ケアの実践にかかる積極的取組地域を訪ね、その経緯等を体得し保健、医療、介護、福祉等包括的な取り組みの実際を学ぶことを目的に開催したものである（平成 28 年度から試行的に行い、平成 30 年度より国診協の年度行事として開始）。

◇ 日 時：令和元年 11 月 15 日（金）・16 日（土） 2 日間

◇ 開催地：秋田県横手市（会場：横手市大森町高齢者等保健福祉センター「多目的ホール」）

◇ 研修テーマ

「連携と協働で作る地域包括ケアシステム」
～地域連携におけるリハビリ専門職の役割～

◇参加人員：37 名

(1 日目) 令和元年 11 月 15 日（金）	
13:00	受付開始・集合
13:20	開講式 挨拶 小野 剛 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会副会長 (秋田県：市立大森病院長)
13:30 ～ 14:30	○特別講演（60 分） 「地域包括ケア時代におけるリハビリテーション専門職-「その人らしさ」を醸し出すために-」 講師：松坂誠應（長崎県・長崎リハビリテーション病院地域リハビリテーション統括／在宅支援リハビリテーションセンターぎんやセンター長）
	休憩
14:40 ～ 15:10	○報告Ⅰ（30 分） 「市立大森病院が取り組む地域包括医療・ケア」 講師：小野 剛（秋田県：市立大森病院長）
15:10 ～ 15:40	○報告Ⅱ（30 分） 「横手市における地域包括ケアの取組み」 講師：高橋智子（秋田県：横手市地域包括支援センター保健師）

	休憩（会場レイアウト変更）
15:50 ～ 16:30	施設見学（40分） ・病院（地域包括ケア病棟・リハビリテーション科等）／老健施設
16:40 ～ 18:10	○活動報告（90分） 市立大森病院の地域包括医療・ケアの構築に向けたリハビリ専門職の取り組み 1) 「市立大森病院における地域包括ケア病床の取り組み」 発表者：渡邊稔彦（理学療法士） 2) 「訪問・通所リハビリテーションの取り組み」 発表者：及川優子（理学療法士） 3) 「予防事業での取り組み」 発表者：井上諭（理学療法士） *ディスカッション 15分 司会：市立大森病院リハビリテーション科
	移動（休憩） ※施設専用バスにて移動
18:30 ～ 20:30	○情報交換会（交流会）
（2日目） 令和元年11月16日（土）	
8:30	集合
8:40 ～ 11:40	○活動研究（180分） テーマ：「地域連携におけるリハビリテーション専門職の役割」 1) 基調講演（40分） 講師：北谷正浩（国診協リハビリテーション部会 副会長） 演題名：地域包括ケア病棟（病床）と地域連携 - 第59回全国国保地域医療学会、専門分科会（リハビリ）シンポジウムのまとめ - 2) グループワーク（120分） ・目的：参加施設の活動紹介と情報共有 ・ファシリテーター（国診協リハビリテーション部会員） ①院内連携の課題と工夫（地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟他） ②地域連携（医療・介護連携、地域ケア会議等）の実際と課題 ③国診協リハ専門職として地域に資するために明日から行う準備、条件 3) まとめ・講評（20分） ・松坂誠應（長崎大学名誉教授／全国地域リハビリ支援事業連絡協議会会長） ・林拓男（公立みつぎ総合病院、広島県リハビリテーション支援センター長） 司会：村上重紀（国診協地域ケア委員会・リハビリテーション部会部会長／広島県・公立みつぎ総合病院参与）
11:40 ～	閉講式 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会 副会長 小野 剛 ※参加者アンケート ※集合写真撮影
11:50	解散

(7) 多職種研修コーディネーター研修会

本研修会は、平成 28 年度より厚生労働省老人保健健康増進等事業等により「小規模自治体における多職種研修プログラム・運営ガイド」を作成し、「医療介護関係者の研修」を企画運営できる人材の育成として、「多職種研修コーディネーター研修会」（平成 29 年度の研修修了者数 341 名）を開催してきた経緯がある。

平成 30 年度より、「在宅医療・介護連携推進事業」が全市区町村で開始され、その取組みの一つとされる「医療介護関係者の研修」は、国保直診の多くが所在する中山間地域（特に医療・介護資源の不足地域）において課題を抱えている地域が多いことから、効率的かつ効果的实施に向け、簡易的な地域診断を用いながら効果的かつ負担感の少ない多職種研修の企画・運営できるコーディネーターを養成することを目的に実施した。

研修内容は、①まずは体験！多職種研修…実際に自治体等で行われる多職種研修の内容や雰囲気、進め方を知っていただくため、研修の一部を模擬的に体験（緊張を緩和するためのアイスブレイク、他の職種の考えを感じるための演習等）。②ベテランに学ぶ研修の「コツ」と「ポイント」…第 1 部で体験した研修内容をもとに、研修の企画・当日運営等の経験豊富な講師から、研修を効果的に、また楽しく進めるためのコツとポイントの話。③「自分たちの地域でどうするか」を考える！…第 1 部、第 2 部の内容をもとに、各自自治体における開催方法等について、行政の担当者等で検討し、課題となりそうなところ、不安なところなどについて、講師から実態に即したアドバイスを行った。

[令和元年度 実施内容]

① 岡山会場(岡山市)

日時：令和元年 7 月 24 日（水）10：00～17：00

開場：岡山国際交流センター

参加自治体数・人数：20 団体・40 人

② 盛岡会場(盛岡市)

日時：令和元年 11 月 7 日（木）10：00～17：00

会場：マリオス

参加自治体数・人数：14 団体・20 人

* 東京会場（千代田区 日時：令和元年 10 月 12 日（土））・・・台風のため中止とした。

多職種研修コーディネーター研修会

基本プログラム

構成	内容	座席
開会前	■事前アンケート記入のお願い	
開会		
10:00-10:05	開会のあいさつ	チーム
多職種研修実施にあたって		
10:05-10:25	コーディネーター研修を始めるにあたって ■多職種研修運営ガイド・研修プログラムの解説 ■多職種連携・多職種研修運営の検討（課題抽出）	チーム

10:25-10:30	席替え	
【第1部】まずは体験!多職種研修		
10:30-12:00	■自己紹介/アイスブレイク/ロールプレイ	グループ
昼食(60分)12:00~13:00		
【第2部】ベテランに学ぶ研修の「コツ」と「ポイント」		
13:00-14:00	研修開催のコツについての解説	グループ
14:00-14:15	席替え・休憩	
【第3部】「自分たちの地域でどうするか」を考える!		
14:15-15:45	研修会の開催方法の検討 ■本事業における地域診断の方法について説明 ■地域診断による地域課題の検討 ■抽出した地域課題を元に、その課題の解決に向けた研修会の企画案の検討	チーム
15:45-15:55	休憩	
15:55-16:45	発表 ■検討結果と今後の取組の発表	チーム
16:45-16:55	質疑応答 ■検討に際しての疑問や他自治体の発表内容についての質疑応答	
閉会		
16:55-17:00	修了証授与 / 閉会 / 集合写真撮影	
閉会后	■事後アンケート記入のお願い	

- 5 地域包括医療・ケア認定制度の認定（全自病協との共同事業。年2回新規・更新認定）
令和元年度 認定施設 0 施設（累計217施設）
認定医師 3人（累計446人：医師430人、歯科医師16名）
認定専門職 1人（累計345人）

6 医師臨床研修指導医講習会（全自病協との共同事業）

- ① 開催期日 令和元年8月～令和2年2月（5回開催：東京2、神戸3）
② 参加人員 計224名（累計6,683名）

7 調査研究事業等

■ 厚生労働省老人保健健康増進等事業の実施結果(概要)

「離島等における介護サービスの提供体制の確保方策のあり方と既存施策のあり方に関する調査研究事業」

本事業は、離島等地域において地域の特性に考慮しながら、介護サービス体制の確保の在り方を検討するとともに、それを支援する国や地方自治体の施策の活用方策を検討し、限られた資源のもとでその地域の方々が住み慣れた地域で生活を継続できるような今後の取り組み課題と方向性を明らかにし、その課題解決に向けた方策及び関連情報を自治体等に提供することを目的に調査研究を実施した。

※事業実施地域の枠組みとして、離島及び離島を有する自治体並びに振興山村の医療・介護資源が不足している地域を有する自治体を対象。

①実態調査（アンケート調査）

1) 離島や中山間地域等における介護サービスの提供状況に関する実態調査

・離島及び離島を有する市町村、振興山村（山村振興法で全域指定の地域）に該当する市町村（対象・悉皆：826ヶ所）※回答率 60.5%

②地域現地訪問調査（ヒアリング調査）

1) 積極的取組（好事例）地域（対象・抽出：6ヶ所）

基準該当サービス、離島等相当サービス、その他自治体独自施策等

1. 北海道足寄町、2.宮城県塩竈市、3.岐阜県郡上市、4.徳島県三好市、5.鹿児島県十島村、6.沖縄県竹富町

③フォーラムの開催（モデル研修会）

1) 名称：離島・中山間地域における介護サービスのあり方を考えるフォーラム

2) 開催場所：香川県高松市「サンポートホール高松」

3) 開催日時：令和2年2月13日

4) 参加者数：45名（委員含む）

④成果物の作成

1) 報告書

2) 離島等における介護サービスの提供体制の確保方策と既存施策に関する手引き

※別途、事業報告の案内リーフレットを作成

■ 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の実施結果(概要)

「よりよく生ききるための人生会議に関する地域社会資源による支援事業」

本事業は、健康時から人生の最終段階に至るプロセスにおいて、急性期を乗り越え慢性疾患管理に移行するにあたり、これからの生き方について混乱、困惑していて、病と共に生きるための支援を必要とする人、および安定した外来通院や在宅療養といった生活の場の時期と入退院時期を行き来するケアサイクル途中における人が、生き方・生ききり方を考え、本人らしい人生を送ることを目的に、そうした時期の人生会議（ACP）への取り組みを関わる本人家族も含めた多職種によって支援する活動を実施することを活動目的として実施した。

①全国調査（アンケート調査）

手引書及び啓発資料等の作成にあたり、当協議会の会員施設（国保直診：805施設）に対し、人

生会議（ACP）の実施状況（人生会議の認知度の確認・取組み手法・教材の活用）等のアンケートを実施した。

※回答率 32.95%のうち 27.9%で人生会議（ACP）及び準じた取組みが実施

②実務者研修会の開催

連携団体の担当者を招聘し、モデル事業実施に向けての研修を実施

開催日：令和元年 10 月 18 日（金）

開催地：東京都港区「国診協事務局・会議室」

参加者数：29 名（委員会含む）

③連携団体でもモデル事業実施

各連携団体では、人生会議（ACP）が実施できる人材育成のための研修会並びに、当事業作成の「人生会議（ACP）手引き等」を用い、希望者への人生会議（ACP）を実施した。

1) 研修会開催

1) 北海道本別町（参加者：42 名）、2.秋田県横手市（参加者：65 名）、3.埼玉県小鹿野町（参加者：34 名）、静岡県浜松市天竜区（参加者：46 名）、4.岐阜県郡上市（参加者：48 名）、5.滋賀県信楽町（参加者：53 名）、6.島根県飯南町（参加者：54 名）、7.香川県観音寺市（参加者：70 名）、8.大分県国東市（参加者：79 名）

2) 支援活動

1) 北海道本別町（対象者：12 名、関係者：28 名）、2.秋田県横手市（対象者 4：名、関係者：19 名）、3.埼玉県小鹿野町（対象者：7 名、関係者：30 名）、静岡県浜松市天竜区（対象者：1 名、関係者：3 名）、4.岐阜県郡上市（対象者：2 名、関係者：9 名）、5.滋賀県信楽町（対象者：2 名、関係者：4 名）、6.島根県飯南町（対象者：2 名、関係者：4 名）、7.香川県観音寺市（対象者：3 名、関係者：9 名）、8.大分県国東市（対象者：3 名、関係者：8 名）

④教材等作成

本事業の検討会・部会にて、モデル事業実施のための教材（①国診協版人生会議（ACP）の手引き、②普及推進パンフレット、③研修スライド及び研修運営マニュアル等）を作成した。

■ 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団・在宅医療研究への助成の実施結果(概要)

「在宅療養者の災害時避難行動支援計画を多職種と地域が協働して作成する体制の構築」

本研究は、在宅療養者等が、災害発生後も医療・介護を継続的に受けられる基盤整備のあり方について研究し、その効果検証として体制構築に向けた取組みを実践する。

- 保健・医療・介護・福祉に関わる多職種に地域自治組織や行政が加わった、防災をキーワードとした連携体制を構築する。
- 在宅療養者の災害時避難行動支援計画を多職種と地域自治組織が協働して作成する。
- 個人情報保護に留意した協働者間の情報伝達と情報共有のあり方について検討する。

実施期間：平成 30 年 9 月～令和元年 8 月

事業実施地域：①宮城県・気仙沼市本吉病院、②静岡県・浜松市国保佐久間病院、③徳島県・美波町国保美波病院（3ヶ所）

8 表彰

(1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

- ① 表彰式 令和元年 10 月 4 日(金) 第 59 回全国国保地域医療学会/長崎・佐賀共同開催
- ② 会 場 長崎ブリックホール
- ③ 受賞者 表彰者 38名

(2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰

- ① 表彰式 令和元年 10 月 4 日(金) 第 59 回全国国保地域医療学会/長崎・佐賀共同開催
- ② 会 場 長崎ブリックホール
- ③ 受賞者 最優秀 1 名 優秀 5 名

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

- (1) 都道府県協議会振興費の交付
- (2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成
- (3) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

- (1) 「地域医療」誌発行 第 57 巻第 1 号～第 57 巻第 4 号
- (2) 「地域医療」特別号(第 58 回全国国保地域医療学会 [徳島開催] 特集)発行

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営支援

12 国診協 会長・副会長等の関係省庁・団体等における活動

職 名	役員名
厚生労働省 今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会委員 厚生労働省 独立行政法人地域医療機能推進機構評価委員 地域医療を守る病院協議会 (6 団体 29.9.28 設立) NPO 法人卒後臨床研修評価機構	会長 押淵 徹
厚生労働省 医道審議会委員 医師分科会臨床研修部会臨時委員 地域医療を守る病院協議会 (6 団体 29.9.28 設立) 日本専門医機構 総合診療医検討委員会	副会長 金丸吉昌
独立行政法人福祉医療機構助成事業評価委員 地域医療を守る病院協議会 (6 団体 29.9.28 設立) 日本専門医機構 総合診療医検討委員会WG	副会長 小野 剛
地域医療を守る病院協議会 (6 団体 29.9.28 設立) 公益社団法人全国自治体病院協議会理事・・・元年 6 月全自病協総会で選任予定 医療とニューメディアを考える会 世話人 日本在宅ケアアライアンス会議 (在宅医療助成 勇美記念財団)	副会長 安東正晴
日本専門医機構 総合診療医検討委員会WG	中村伸一